

平成31年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

平成31年度は、第3期中期計画期間（平成31(2019)年度～平成36(2024)年度）の初年度であり、多様化する学生ニーズや地域からの要請に応える魅力ある大学づくりを実現するための改革準備期間として、改革に向けた基盤づくりを行う必要があります。

また、中期計画期間の切り替わりの年度にあたり、第2期中期計画期間中に積み立てた目的積立金は地方独立行政法人法の規定により、島根県の承認を得るまで活用できない状況にあります。

このため、学生に対する教育経費を優先的に確保した上で今後の改革実施に伴う財源確保に向けた経費削減努力、事務事業の見直し、自己財源確保等を進めつつ、大学改革のために必要な事業に重点的に予算措置することを基本的な方針として編成を行いました。

具体的には、理事長・学長のリーダーシップのもとで第3期中期計画を着実に実施するため、島根県が抱える課題に応える実践的な研究を推進する「しまね地域研究センター」の設置をはじめ、今後の改革に向けた浜田キャンパス新学部設置準備や学長裁量研究費を含めた研究費全体の見直しを実施します。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、36億15百万円で、松江キャンパス四大化に伴う定員増等による学生納付金の増の一方で、目的積立金取崩収入の減により前年度予算（36億55百万円）に比べ1.1%の減（41百万円）となっています。

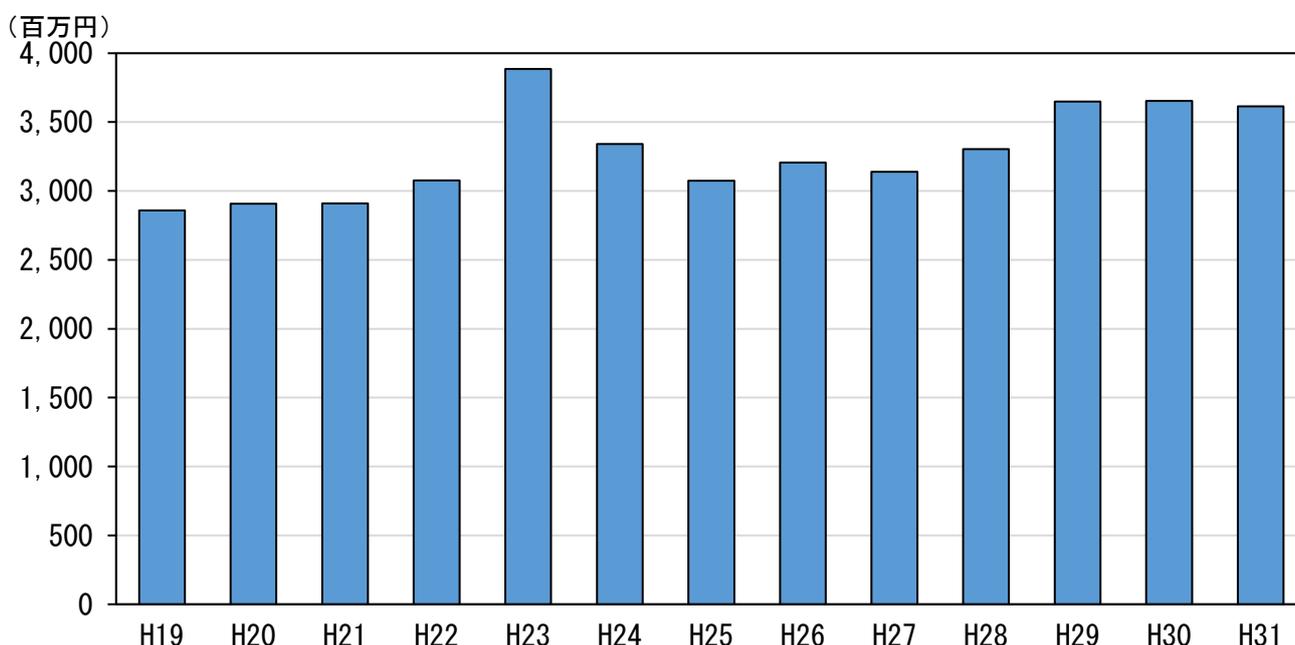
（単位：千円）

区 分	H31当初	H30当初	増 減	増減率
予算規模	3,614,535	3,655,294	▲ 40,759	▲1.1%

【参考】当初予算規模の推移

（単位：百万円）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,075	3,206	3,139	3,305	3,649	3,655	3,615



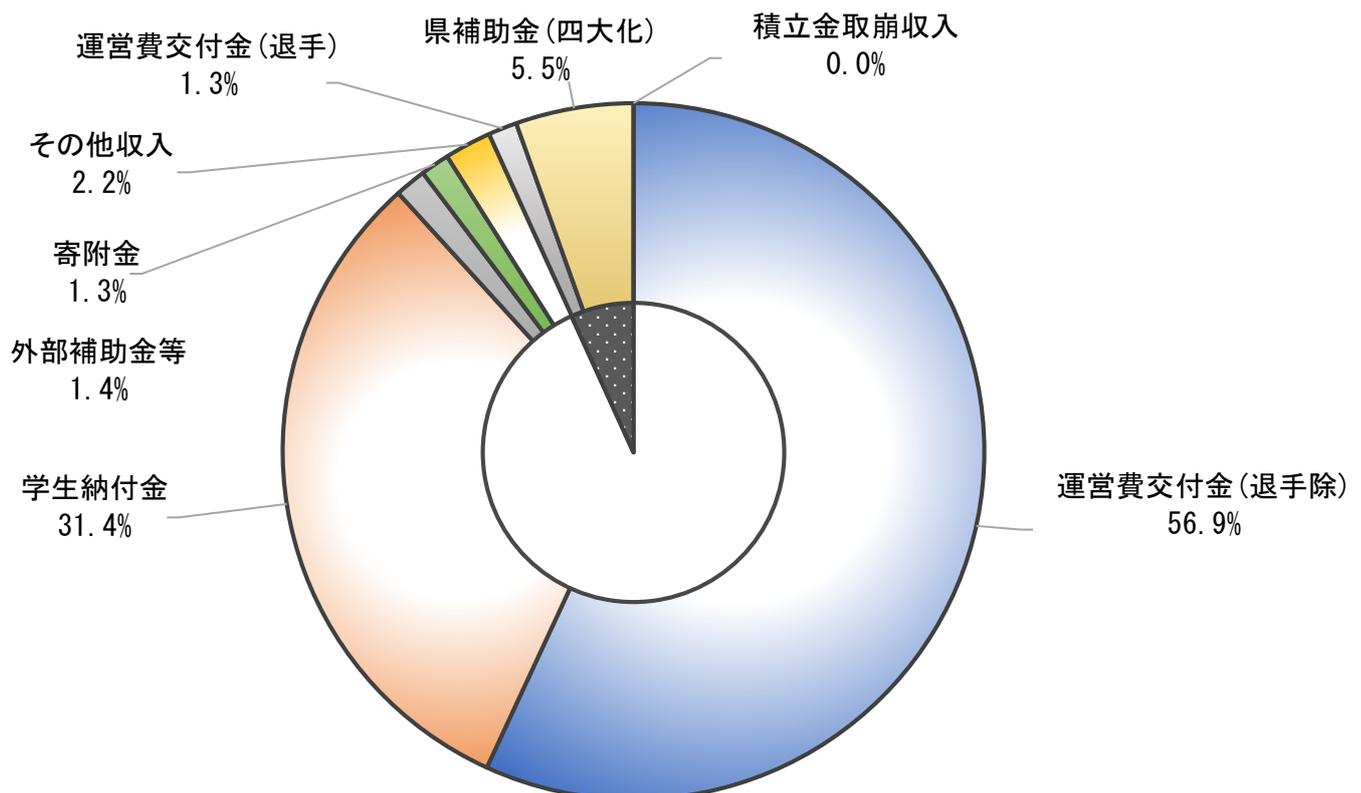
2. 収入予算

(単位：千円)

区 分	H31当初		H30当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	2,055,491	56.9%	2,079,926	56.9%	▲24,435	▲1.2%
学生納付金	1,136,136	31.4%	1,091,103	29.9%	45,033	4.1%
外部補助金等	52,280	1.4%	37,082	1.0%	15,198	41.0%
寄附金	48,370	1.3%	58,772	1.6%	▲10,402	▲17.7%
その他収入	78,117	2.2%	80,618	2.2%	▲2,501	▲3.1%
計	3,370,394	93.2%	3,347,501	91.6%	22,893	0.7%
運営費交付金(退手)	47,982	1.3%	102,966	2.8%	▲54,984	▲53.4%
県補助金(四大化)	196,159	5.5%	125,488	3.4%	70,671	56.3%
積立金取崩収入	0	0.0%	79,339	2.2%	▲79,339	▲100.0%
合 計	3,614,535	100.0%	3,655,294	100.0%	▲40,759	▲1.1%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

- 運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の88.3%を占めています。
- 運営費交付金(退手除)は、松江キャンパス四大化及び出雲キャンパス大学院(博士後期)の事業費増の影響による増、消費税税率の引き上げ影響による増、平成30年度人事委員会勧告の影響による増等の一方、四大化による定員増に伴う標準収入の増に伴う減等により、24百万円の減額となっています。
- 学生納付金は、松江・出雲キャンパスにおける定員増、及び入学予定者数の見込増による影響で45百万円の増額となっています。
- 外部補助金等は、受託事業等の見込増による影響で15百万円の増額となっています。
- 積立金取崩収入は、第2期中期計画期間中に積み立てた目的積立金の県承認を得るまで活用できないことによる影響で79百万円の皆減となっています。



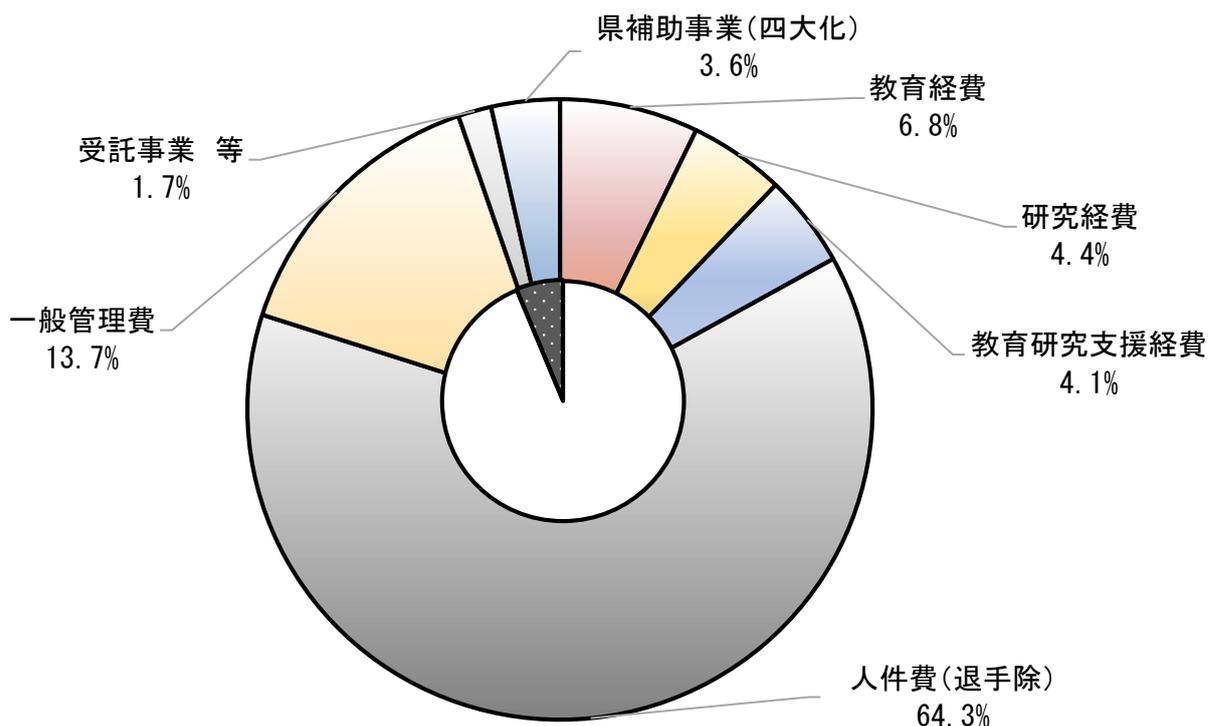
3. 支出予算

(単位：千円)

区 分	H31当初		H30当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	246,923	6.8%	254,627	6.9%	▲7,704	▲3.0%
研究経費	159,920	4.4%	175,633	4.8%	▲15,713	▲8.9%
教育研究支援経費	146,924	4.1%	170,612	4.7%	▲23,688	▲13.9%
人件費（退手除）	2,324,790	64.3%	2,235,391	61.2%	89,399	4.0%
一般管理費	493,910	13.7%	525,125	14.4%	▲31,215	▲5.9%
受託事業 等	63,052	1.7%	61,209	1.7%	1,843	3.0%
予備経費	3,421	0.1%	4,243	0.1%	▲822	▲19.4%
計	3,438,940	95.1%	3,426,840	93.8%	12,100	0.4%
人件費（退手）	47,982	1.3%	102,966	2.8%	▲54,984	▲53.4%
県補助事業（四大化）	127,613	3.6%	125,488	3.4%	2,125	1.7%
合 計	3,614,535	100.0%	3,655,294	100.0%	▲40,759	▲1.1%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

- 研究経費は、学長裁量研究費と個人研究費の単価見直しによる影響で16百万円の減額となっています。
- 教育研究支援経費は、教務支援システムの切替終了に伴う影響で24百万円の減額となっています。
- 人件費（退手除）は、人事委員会勧告を受けた給与改定による増、昇給及び昇格に伴う増のほか、四大化等に伴う追加の教員配置により、89百万円の増額となっています。
- 一般管理費は、浜田キャンパス外壁打診調査の終了による減、キャンパス修繕費の減等の影響で31百万円の減額となっています。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、3百万円を計上しています。
- 県補助事業（四大化）は、松江C備品整備費等を計上しています。



Ⅲ 主な事業

1. 重点項目

○第3期中期計画期間の初年度として「地域貢献・教育重視型大学」の実現に向けた取組を進めます。主には、県内の地域課題に対する研究を進める「しまね地域研究センター」や浜田キャンパス2学部化に向けた準備室等の組織設置、県内高校と連携した共同カリキュラム開発やマレーシアでの短期国際交流等の新たな教育プログラムの展開、学生の利便性向上のための施設整備などに取り組みます。

(1) 県民からの期待に応える存在意義の高い大学

- ①学長裁量事業（法人本部）〈継続〉 41,000 千円
（研究費以外）

・理事長（学長）の権限のもとに、大学改革に伴う必要な事業を再構築する。

項目	内容	金額(千円)
地域貢献奨励金	学生の地域貢献推進 奨励金	5,000
I R	大学経営調査・分析（アンケート実施 等）	500
広報プロジェクト	TVCM作成、Web動画作成等「大学の見える化」	4,500
短期国際交流	マレーシアへの短期トライアルプログラム	500
高大連携	連携協定を基にした県内高校との連携強化	600
その他	シンポジウム、出版助成 等	6,900

（研究費）

・個人研究費の単価見直しに併せ、学内競争的研究費を全キャンパス共通の取扱とした上で、一元管理する。

項目	内容	金額(千円)
学長戦略枠	しまね地域研究センターに重点的に配分する研究費	5,000
学部長裁量枠	各Cの特性に合わせた研究を推進する研究費	6,000
若手支援枠	将来的に本学の研究を担う若手研究者へ配分	12,000

- ②松江キャンパス四年制化事業（法人本部）〈継続〉 127,613 千円

・松江キャンパス四年制大学完成に向けた、備品購入・移転作業を実施する。

- ③浜田キャンパス新学部設置準備事業（法人本部）〈新規〉 34,315 千円

・平成33(2021)年度浜田キャンパス新学部設置のために職員を配置し、シンクタンクへの設置認可申請調査等を実施する。

(2) 地域に貢献する人材を輩出する大学

- ①地域貢献奨励金（法人本部）〈継続〉【（1）①の一部再掲】 5,000 千円

・学生の広域な地域貢献活動を促進するため、交通費や宿泊費等の支援を行う。

- ②高大連携強化事業（全C）〈新規〉【（1）①の一部再掲】 600 千円

・高校と大学による高大連携協議を開始し、「高校魅力化事業」と連動させ、高校との共同カリキュラム化に取り組む。

- ③学生地域ボランティア活動推進事業（全C）〈継続〉 890 千円

・学生が地域ボランティア活動等に参加するための保険料を大学が負担、マイレージ事業の実施等を行い学生ボランティア活動の推進を図る。

(3) 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

- ①しまね地域研究センター事業（法人本部）〈新規〉【（1）①の一部再掲】 5,000 千円
・島根県の地域課題や地域文化等に関する研究に取り組み、地域貢献を推進する。
- ②授業料奨学制度（全C）〈継続〉 72,430 千円
・意欲ある学生への学修支援として、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金、成績優秀者奨学金等を学生に給付する。
- ③学生利便性向上施設整備費（法人本部）〈新規〉 5,000 千円
・学生の利便性を高める施設・設備を整備するため、利用頻度の高いトイレの洋式化（シャワー便座化）を進める。

(4) 国際交流、海外留学等の促進

- ①海外留学等支援事業（全C）〈継続〉 1,550 千円
・島根県立大学未来ゆめ基金を原資として、学生が自ら企画する海外での活動に対して助成し、学生の海外渡航を支援するとともに、自ら考え行動する体験機会を提供する。
- ②海外留学・海外研修等に係る奨学金（全C）〈継続〉 11,773 千円
・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。
- ③短期国際交流（法人本部）〈新規〉【（1）①の一部再掲】 500 千円
・マレーシアにあるマラヤ大学において、現地学生と協働学習し多文化共生力を育成するため、短期海外体験プログラムを実施する。

2. その他項目（重点広報等）

(1) 重点広報

- ①重点広報事業（法人本部）〈継続〉 10,379 千円
・新聞広告、テレビCM、保護者向けリーフレット、広報誌の刷新等の効果的な広報により、学生確保に努める。
・高校生や保護者に対し訴求力の高い駅でのデジタルサイネージによる広報を実施する。

(2) その他

- ①おはなしレストランライブラリー事業（松江C）〈継続〉 6,432 千円
・授業での実践的な学びの場として、地域住民への絵本の貸出、学生による絵本の読み聞かせ活動などを実施する。
- ②認定看護師教育課程運営事業（出雲C）〈継続〉 23,613 千円
・県からの受託事業として開設する認定看護師教育課程において、平成30年6月より認知症看護分野を開講し、熟練した看護技術と知識を有する認定看護師を育成する。
- ③松江C建築物外壁劣化診断業務（松江C）〈新規〉 3,753 千円
・外壁の落下等による事故を未然に防ぐため、3か年程度をかけて松江C建物外壁タイル等の劣化・損傷を調査する。